

外来診療担当医表

■ 診療時間 午前 8:30~12:30 午後 13:30~17:30

診療科目	月	火	水	木	金	土	日
内科	一般内科	佐藤内之倉 (第2・4週) 吉田 (第1・3週)	内之倉 牧野	吉田	木村	内之倉 木村	当番医師
	一般内科 腎臓内科	永野	永野	永野	永野		
	循環器内科			田中	田中		
	代謝内科						九州大学
	神経内科				原 (第2・4週)		
整形外科 リハビリテーション	柳邊 (第1・3週) 浜崎 (第2・4週)	長友	矢野	松田 AMのみ (隔週)	柳邊 (第1・3週) 田村 (第2・4週)		福岡大学 (第2・3・4週)
小児科	吉田 (午後のみ)		吉田 (午後のみ)	吉田 (午後のみ)	吉田 (午後のみ)		
耳鼻咽喉科	長崎大学 [9:30~]	長崎大学 [12:30迄]			長崎大学 [9:30~]	長崎大学 [12:30迄]	
精神科				精神科担当医 (第1・3週)	精神科担当医 (第1・3週)		
泌尿器科		宮崎	宮崎	宮崎	木村		
眼科							九州大学 (第2・4週)
皮膚科		武田 10:40~ (第1・3週)					
人工透析	永野	木村	木村	永野	永野	永野	
消化器検査(内視鏡)		清水	清水	清水			
(内科系)午後担当医	師岡	内之倉	田中	木村	木村/田中/内之倉 (交代で)	当番医師	当番医師

当番医師

【備考】

- 内科系の午後診療は、当番制となっております。
- 内科、精神科、泌尿器科、眼科においては「予約制」を導入しております。
- 休診日は祝日午後、土曜日午後及び日曜日。時間外・休日等は、当番医師にて急患対応致します。



交通アクセス

- 天草空港より車で25分
- 本渡バスセンターよりバスで40分
- ➔ 天草慈恵病院前 停留所下車 徒歩2分



救急告示病院
社会医療法人 稲穂会
天草慈恵病院



ホームページ URL <http://www.inahokai.com/>

■ 熊本県天草郡苓北町上津深江278-10	
社会医療法人稲穂会 天草慈恵病院	TEL 0969-37-1111(代)
医療連携室	TEL 0969-37-1150
健診センター	TEL 0969-37-1730
通所リハビリテーション 蕩蕩館	TEL 0969-37-1202
温泉プール 悠遊館	TEL 0969-37-1111
ケアプランサービス JCS24	TEL 0969-37-1111
訪問看護ステーション はまゆう	TEL 0969-37-0288
ヘルパーステーション JCS24	TEL 0969-37-1111
介護老人保健施設 慈恵苑	TEL 0969-37-1567
天草慈恵病院 介護医療院	TEL 0969-37-1111
■ 熊本県天草郡苓北町富岡2228-16	
住宅型有料老人ホーム 和	TEL 0969-35-0171
■ 熊本県天草市河浦町河浦4660-1	
訪問看護ステーションはまゆうサテライト河浦	TEL 0969-76-0101

医療・介護・福祉の総合的・複合的サービス提供

AMAKUSA JIKEI HOSPITAL

2026 VOL.54 5月号

発行：社会医療法人 稲穂会 天草慈恵病院

天草慈恵だより



「2026 新たな一歩」

CONTENTS

- 理事長ご挨拶
- 回復期リハビリテーション科8年間の報告
- MRIバージョンアップ
- 特定技能スタッフを迎えて

理事長ご挨拶 ~2026年度を迎えて~

新年度を迎えるにあたり、当法人では新たな仲間を迎え、組織として新たな一歩を踏み出すことができました。職員一同、心新たに地域医療・介護の充実に努めてまいります。

2026年度の事業計画としては、「人材の確保と育成」「診療報酬・介護報酬改定への対応」「DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進」「健康経営の推進」の4つを柱として掲げております。

人材の確保と育成につきましては、引き続き最重要課題として位置づけております。多様な働き方の推進や働きやすい職場環境の整備を進めるとともに、教育体制の充実を図り、職員一人ひとりの成長を支援してまいります。

また、本年度は診療報酬・介護報酬改定への的確な対応が求められます。制度の動向を的確に捉えながら、質の高い医療・介護サービスの提供と安定した経営の両立を図ってまいります。

DXの推進については、これまでの取り組みをさらに発展させ、ICTの活用による業務効率化とサービスの質向上を目指します。加えて、今後の医療提供体制の質を高める基盤整備として、電子カルテシステムの更新に向けた検討を進めてまいります。これにより、より安全で効率的な情報共有と診療支援の実現につなげてまいります。

さらに、健康経営の推進にも力を入れてまいります。職員が心身ともに健康で働き続けられる環境を整えることが、結果として地域の皆さまへのより良い医療・介護の提供につながるものと考えております。

医療・介護を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、このような時代だからこそ、地域に信頼される存在であり続けることが重要であると考えております。

「面倒見のいい医療・介護施設となる」という理念のもと、法人内の職員が一丸となり、より一層努力してまいります。本年度も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会医療法人 稲穂会 理事長 永野 忠相

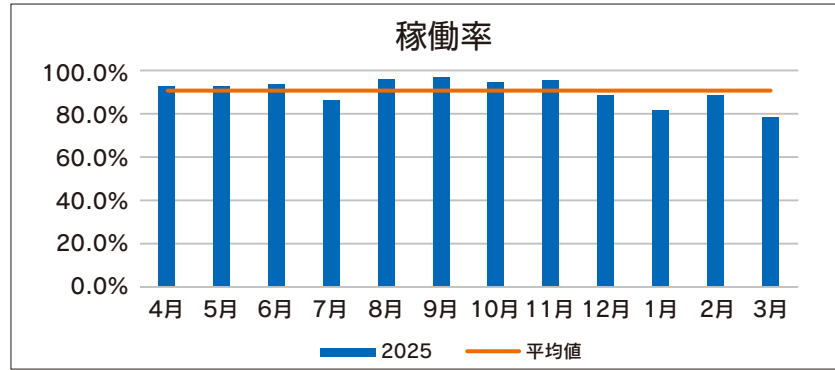
回復期リハビリテーション病棟 ～2025年度実績報告～

当院は、天草圏内唯一の回復期リハビリテーション病棟を有しており、天草全域におけるリハビリ提供体制の機能強化に努めています。昨年度10月より病床数を34床から38床へ増床し、より多くの患者様の受入が可能となりました。

2025年4月～2026年3月における回復期リハビリテーション病棟の実績を以下ご報告します。

施設基準：回復期リハビリテーション病棟入院料3

稼働率



実績指数 44.58

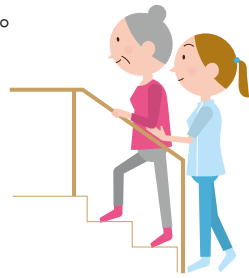
入院期間中にどれだけ効率的に日常生活活動を改善できたか、リハビリテーションの質を示す指標です。高い程、リハビリの質が高いことを示します。

回復期リハビリテーション病棟入院料3の施設基準では35以上となっています。

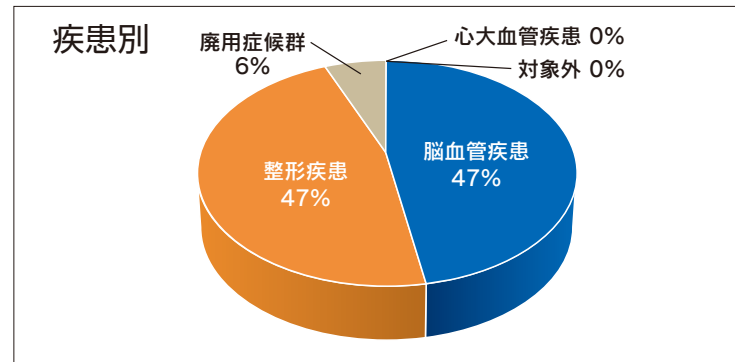
在宅復帰率 平均82.4%

自宅及びそれに準ずる施設へ退院された方の割合です。

回復期リハビリテーション病棟入院料3の施設基準では70%以上が求められます。



疾患別割合



重症者割合 55.9%

日常生活能力が著しく低下している方が入院されている割合です。
(機能的自立度評価法【FIM】にて55点以下/126点満点)
回復期リハビリテーション病棟入院料3の施設基準では30%以上が求められます。

重症者改善率 71.1%

入院時に重症の方が退院時に大きく改善した割合です。
(重症の患者様がFIMで12点以上改善すること)
回復期リハビリテーション病棟入院料3の施設基準では30%以上が求められます。

回復期リハビリテーション病棟のお問合せ先

■ 天草慈恵病院
代表TEL **0969-37-1111**

■ 医療連携室
直通TEL **0969-37-1150**
直通FAX **0969-37-1160**

経営理念

地域の人々に対し予防から予後まで心のかよった包括的医療サービスを科学的かつ適正に行う



基本方針

- 1、医の原点は病者への奉仕にあります
患者様第一主義に徹した医療サービスの向上に努めます
- 2、患者様の安全には細心の注意を払います
- 3、無駄をはぶき適正な医療を行います
- 4、地域における急性期医療を推進すると共に、在宅医療・老人医療など地域社会のお役に立つ病院を目指します

土曜日外来のご案内

整形外科

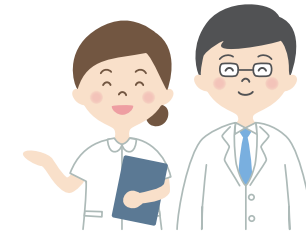
当院の整形外科では月～金曜日までの外来診療の他、土曜日にも外来診療を行っております。

土曜外来診療日(2026年5～6月)

5月の診療は 9日・16日・23日
6月の診療は 13日・20日・27日

担当医

8:30～14:30
福大整形外科 医師



代謝内科・眼科

当院では、九州大学病院代謝内科医・眼科医による診療を行なっています。

外来診療のみで、眼科疾患全般を対象としています。詳しくは、受付窓口までお問い合わせください。

診療日程(2026年5～6月)

代謝内科診療：5月2日・9日・16日・25日(月)・30日
6月6日・13日・20日・27日
眼科診療：5月9日・23日
6月13日・27日

診療時間

8:30～14:30



MRIバージョンアップ

このたび当院では、MRI装置のバージョンアップを実施いたしました。今回の更新により、画像のさらなる高精細化と撮影時間の短縮が可能となり、検査時の負担軽減と診断精度の向上が期待されます。特に脳梗塞や腫瘍、整形外科領域などにおいて、より微細な病変の描出が可能となり、早期発見・早期治療への貢献につながります。また、撮影条件の自動最適化機能などにより、安定した高品質な画像提供が可能となりました。今後も先進的な医療機器の導入を進め、地域の皆様に安心して検査を受けていただける環境づくりと、より質の高い医療の提供に努めてまいります。



特定技能スタッフを迎えて

当院では、特定技能(介護分野)の外国人職員2名が新たに入職いたしました。お二人はインドネシアから来日され、4月より介護業務に従事しています。慣れない環境や言葉の違いがある中でも、日々熱心に業務に取り組み、利用者様に寄り添ったケアの提供に努めています。そのひたむきな姿勢は職員にも良い刺激となっており、職場全体の活性化にもつながっています。今後は日本語や介護技術の習得を支援しながら、安心して長く働ける環境づくりを進めてまいります。当院では今後も多様な人材を受け入れ、より質の高いサービス提供に努めてまいります。

